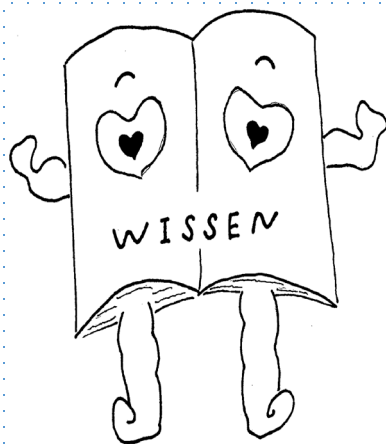


# WISSEN

No.18

2023年度の学生ボランティアによる広報誌  
「WISSEN」をお届けします。

2023年度は学生ボランティア14名  
(有瀬6名、ポーアイ8名)で活動しました。  
この広報誌「WISSEN」では、  
学生ボランティアの活動をご紹介します。



## 目次

表紙	-----	1
KACの活動	-----	2～4
KPCの活動	-----	5～7
編集後記	-----	8

# ビブリオバトル

## ビブリオバトル公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に1人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。



2023年度は月に1回、このビブリオバトルをボランティアメンバー限定で実施しました。大学祭では「疑似ビブリオバトル」という形で展示し、来場者に投票してもらいました。



## KACボランティアおすすめ本



『賢者の書』

新館1階B  
159/KIT/K



『猫と生きる。』

本館5階第4室  
645.7/NAK/N



『観音様の環』

本館4階閲覧室  
913.6/RIK/K

# 大学祭

## 「疑似ビブリオバトル開催を通して」

大学祭での「疑似ビブリオバトル」は良い企画でした。初日は参加者が集まるか不安でしたが、数十名の方にきていただきました。2日目も同様に多くの方が来てくださったので、ビブリオバトルのことを少しでも知ってくれる人が増えたと思われまます。次回もまたこのような企画が実行できるのを楽しみにしています。



### KACボランティアおすすめ本



『奴隷小説』

桐野夏生

本館 4階閲覧室  
913.6/KIR/D



『息子のボーイフレンド』

本館 4階閲覧室  
913.6/AKI/M



『おとなになるって  
どんなこと?』

新館 2階  
人文学部推薦図書  
914.6/YOS/O

3  
KAC

# 館内の おすすめポイント



## ①レビュー本コーナー

自分がレビューした本が  
紹介されるよ！

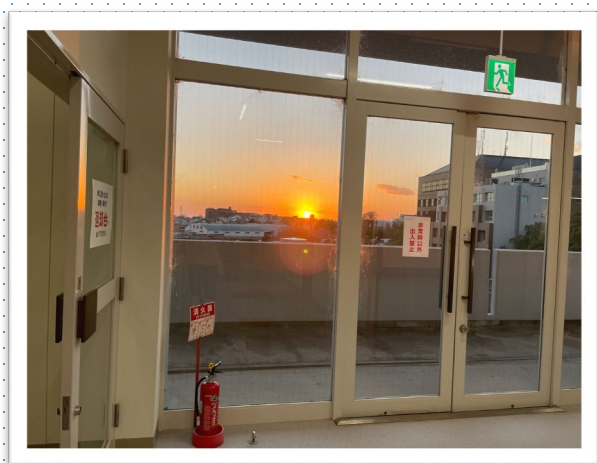
## ②季節感

クリスマスでは、  
学生ボランティアが  
図書館スタッフと協力  
してツリーを飾ったり！



## ③景色

本館5階の夕方。  
夕陽が綺麗に見える！  
人も少なめなのでおすすめ！



# 大学祭

## 総論



今回図書館ボランティアは、初の試みとして大学祭に参加しました。展示という形で様々な本の魅力を皆様にご覧いただくことを嬉しく思います。はじめての参加であったため、勝手が分からず戸惑うこともありましたが、最後は成功に終わって良かったと思っています。特に私たちが力を入れた点としては、図書館の存在や入館・退館方法を認知していただくために作成したPVです。校内のどこに図書館があるかご存知でしょうか。このPVを機に図書館に立ち寄ってくださると嬉しいです。本には1つ1つの出会いがあります。皆様が本と良い出会いができるよう、図書館ボランティアメンバーの一同願っております。

## みんなの推し本



大学祭の企画の1つとして、来場者の推し本を付箋に書いて紹介してもらおうという参加型の催しを行いました。小説だけでなく、漫画や図鑑など本の形をしていれば ジャンルの対象はなんでもありという形でした。紹介されたものには、2023年にアニメが放送されていた「推しの子」や「呪術廻戦」、実写映画が公開されていた「キングダム」などのタイトルが目立ちました。他には、本格的な中国の古典的歴史書や、縦書きで「くじらくも」のタイトルが書かれた付箋は見た目が印象的でした。複数回来場され推しキャラの絵を描いてくださった方や、両日参加してくださった方がいたことも嬉しかったです。

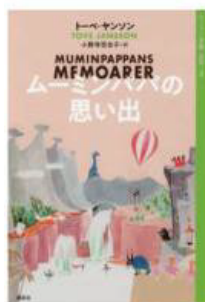


# ボランティアレビュー

KPC図書館ボランティア6名による推し本紹介を行いました。メンバーが各々選んだ8作品の中から1作品を、大学祭来場者1人1人に選んでいただき、集計した結果を元に1番の推し本を決定しました。8作品様々なジャンルであった為、票がかなり割れ、面白い結果になりました。



「私たちの周りには、いつも重要で意義ぶかい物事がごろごろしている。それを体験しそのことについて考え、そうして自分のものにしなければならない」



ムーミンパパの思い出  
著：トベ・ヤンソン  
949.83/JAN/M

ムーミンシリーズを読んでいると「自由」と「感情」に重きを置いている作品だと感じられます。

たとえば今作の主人公ムーミンパパは、実は孤児院育ちであり窮屈で規則正しい孤児院を抜け出して、旅に出るところから話がスタートします。彼は自分が他のものよりも賢く、多くの物事を知りたい性分なのだと考えていました。

彼は自由を手に入れて未踏の地に踏み出すのですが、孤児院の中しか知らなかった彼は自分が孤児院の話しかできず、想像でしか自分の話ができないことを思い知ります。そんな彼に呆れて話を聞いてくれる人がほとんどいない中で最後まで話を聞いてくれる後に生涯の友となるフレドリクソンと出会います。そして彼の夢であった船と一緒に作り仲間とともに大海原へ乗り出します。

しかし仲間は個性派ぞろい。

何もせず大体寝ているヨクサル（後のスナフキンの父）という男がいるのですが、ヨクサルの態度にムーミンパパがだらしがないと評価するとフレドリクソンは「彼は周り違って、ただ生きようとしているのだ」と返します。私にとってヨクサルの何もせず寝っ転がり禁止されたことをするという生活は「自由」のように思えます。

しかしムーミンパパの欲する「自由」は「考え、知ること」であるのです。

その人の美学や価値観を尊重し書きつづられた冒険譚。今後映画化もされるのでぜひお楽しみください。



## 優勝者のコメント

ムーミンという人気コンテンツの効果もあると思いますが、私のレビューが少しでも多くの人に良いと思って貰えたことが嬉しいです。小説ならではの世界や文字にどっぷり浸かってください。

# 司書体験



今年からスタートした企画「お仕事体験」を紹介します。ボランティア参加の学生のみが対象となり事前に図書館スタッフと決めた日程に、本の返却作業や本の並びを整理する書架整理などを行います。1人からでも参加可能で、時間は1～2時間程度となります。



## 参加者コメント

実際に参加してみて、図書館内の蔵書量の多さや、どのように分類されているのかを実感できました。また、本の請求番号などの見方をスタッフから丁寧に教えていただいたことで、授業にもこの経験が生き、探している資料をスムーズに見つけることができました。

## インスタグラム取材

経済学部辻ゼミ様から、図書館ボランティアに神戸学院大学公式インスタグラムの取材を受けました。ボランティア活動、言みくじ、図書館にある施設やサービスなどについてお話をさせていただきました。初めての取材で緊張しましたが、図書館の魅力をアピールできたと思います。この取材を機に、より多くの方が図書館を利用しに訪れて欲しいです。

QRコードを読み取ってね！



言みくじ



図書館  
ボランティア



ポーアイ  
図書館



有瀬図書館

# 編集後記

2023年度は、図書館お仕事体験や大学祭での展示など、これまでの学生ボランティアの活動に無い初めての試みがありました。それぞれが、学業との両立に悩みながら活動に参加している姿が印象的でした。学生ボランティアのみなさん、1年間お疲れ様でした。2024年度もぜひ学生ボランティアにご参加ください。  
(スタッフより)



発行日	2024年 4月 8日
編集	2023年度 学生ボランティア
発行	神戸学院大学 有瀬図書館
印刷	神戸学院大学 有瀬図書館